

# 神奈川畜産情報

発行所  
神奈川県畜産会  
横浜市磯子区西町143  
畜産センター内  
電話 045(761)4191  
FAX 045(759)1162  
発行人  
平本光男



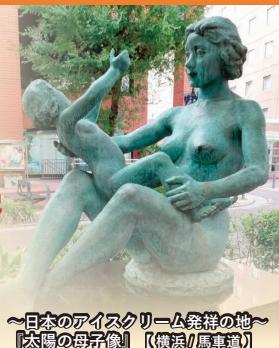
隔月1回（1日）発行  
〔神奈川畜産情報（平成18年1月号以降）はホームページでもご覧になれます〕

神奈川県畜産会のホームページ  
「かながわ畜産ひろば」[\[http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm\]](http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm)



かながわの畜産は横浜開港時の外国人を対象とした生産から**160年**を超える歴史があり、近年は戸数・頭羽数とも減少していますが、畜産物のブランド化や6次産業化の取組などがさかんです。  
そこで、かながわの畜産が、これまで、県民のご理解のもと発展してきたことに感謝し、これからも、県民の期待に応える気持ちを込めて、毎年11月第一日曜日を、「かながわ畜産の日」と定め(※)、この日に記念イベントを開催するとともに、10月～11月に県内各地で開催されるイベントなどを通じてかながわの畜産をPRすることで、県民の理解を深め、かながわの畜産の持続的な発展に繋げています。

※一般社団法人日本記念日協会の登録団体は一般社団法人神奈川県畜産会です



## 「かながわ畜産の日」の取組

### 記念イベント開催（11月第一日曜日）

県産畜産フードが大集合！記念イベントの開催（かながわ畜産ブランド推進協議会主催）

### 農産物直売所などでかながわの畜産をPR（10月～11月）

地域の大型直売所や農場の直売所がかながわの畜産をPR

### こどもたちにも「かながわの畜産」を知ってほしい（10月～11月）

学校給食への県産畜産物の提供に併せて食育活動などを実施

#### 県内の畜産農家戸数と家畜頭羽数

乳用牛  
117戸/4,020頭

肉用牛  
51戸/5,130頭

豚  
41戸/67,200頭

採卵鶏  
38戸/1,041,000羽

※令和6年2月1日時点（農林水産省畜産統計。採卵鶏は1,000羽以上飼養者）

#### 県産畜産物の生産量

牛乳  
24,245t/63万人分

牛肉  
1,454t/15万人分

豚肉  
9,244t/44万人分

鶏卵  
18,911t/97万人分

※令和5年（神奈川県畜産課推計）

〔お問合せ〕 一般社団法人神奈川県畜産会  
神奈川県環境農政局農水産部畜産課

Tel 045-761-4191  
Tel 045-210-4508



QRコードを読み込んで神奈川の畜産を知ろう



かながわ畜産ひろば

神奈川県畜産課HP

かながわの畜産が、県民のご理解のもと発展してきたことに感謝し、これからも、県民の期待に応える気持ちを込めて、2023年11月、「毎年11月第一日曜日はかながわ畜産の日」と

定め、この日に記念イベントを開催するともに、10月～11月に県内各地で開催されるイベントなどを通じてかながわの畜産をPRすることで、県民の理解を深め、かながわの畜産の持続的な発展に繋げることとしています。今年度の取組ですが、11月2日（日）に、湘南台公園で第3回記念イベント、「かながわ畜産の日」

ドフェス2025 in 湘南台」と「第34回かながわトントンまつり」を開催する予定です（昨年度は6千人を超える来場）。一方、11月2日当日に湘南台公園以外で開催予定のイベントや10月～11月にかけて県内各地で開催予定の畜産関連イベント、地域の

がわの畜産をPRしていただきたいと考えております。さらに、学校給食についても、県産畜産物の提供に併せて食育活動等を実施するなど、様々な形でかながわの畜産をPRしていただきたいと考えております。かながわ畜産ブランド推進協議会では、かながわの畜産に関するPR動画や県産畜産物のパンフレット、かながわ畜産の日のチラシやのぼり等PR資材を用意しております。10月～11月の強化月間に向け、PR資材の配布について取りまとめを行いますので、ぜひ、ご利用いただくようお願いいたします。（JAグループについてはJA神奈川県中央会が取りまとめ予定です）。3年度目となる「かながわ畜産の日」ですが、これまでの取組では、「県産畜産物をたくさん知ることができよかつた」、「神奈川の畜産をもっと広めよう」など、神奈川の畜産を応援するたくさんの方々の声が寄せられており、さらに県民の皆様にかながわの畜産を知つていただきたいと思います。

（畜産会 高尾）

	黒毛和種・交雑種・乳用種は保証基準価格、合理化目標価格と共に上回っているので、生産者補給金の交付はありません。
（畜産会 倉迫）	（畜産会 藤田）
○肉専用種	（畜産会 高尾）
四月	交付なし
五月	交付なし
六月	一二、〇七一・七円
○交雑種	（畜産会 高尾）
四月	交付なし
五月	交付なし
六月	六、八六六・一円
○乳用種	（畜産会 高尾）
四月	二一、四二二・七円
五月	二九、五四九・七円
六月	二七、二六四・六円

令和七年四月～六月交付金確定単価  
（肥育牛一頭当たり）

## 牛マルキン

（肉用牛肥育経営安定交付金制度）

### 交付状況

乳用種 二五四、七〇〇円

黒毛和種・交雑種・乳用種は保証基準価格、合理化目標価格と共に上回っているので、生産者補給金の交付はありません。

（畜産会 藤田）

地方競馬の収益金は  
畜産振興に役立てられています。

## 川崎競馬開催日

10月13日(月)～10月17日(金)ナイター  
11月17日(月)～11月21日(金)ナイター

広告

国産の牛乳、お肉、卵を食べてまもる♪

畜産物を生産するためのコストが上昇しています。  
皆様に国産の畜産物を食べていただくことが生産者の応援に繋がります。

公益社団法人 中央畜産会

TEL.03-6206-0840

東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイビル9F

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。

# エコフィードを活用した肥育牛用飼料の温室効果ガス排出量の削減効果

## 【目的】

エコフィードを活用した畜産物の生産は、飼料費削減だけでなく、畜産経営から排出される温室効果ガス（GHG）を削減し、脱炭素化社会の実現に貢献することが期待されます。本県の肉用牛経営では、古くからトウフ粕やビール粕などのエコフィードを活用した飼料の利用が多くみられます。そこで、県内肉用牛農家のエコフィード混合飼料の温室効果ガス（GHG）排出量を調査し、評価しました。

## 【方法】

エコフィードを活用している県内肉用牛肥育農家5戸（A～E）を調査しました。GHG排出量は、「飼料原料の生産」、「エコフィードの輸送」、「混合飼料の調製」の各段階で発生する二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素の排出量の合計をTDN1kg当たりの二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）換算量として算出し、市販の肉牛肥育用配合飼料（市販配合飼料）と比較しました。

## 【結果】

エコフィードとして、トウフ粕はすべての農場、ビール粕は3農場で使用し、この他に、酒粕、くず米、破碎米、パスタ、オリーブ粕を使用しており（図1）、飼料中のエコフィード混合割合は、原物で41.2～68.0%でした（表1）。飼料成分は、混合飼料の水分は37.2～46.2%、TDNは57.2～90.8%であり、市販配合飼料は水分12.6%、TDN84.3%でした（表1）。



図1 エコフィードの一例  
(左上：トウフ粕 右上：ビール粕  
左下：パン 右下：パスタ)

表1 混合飼料の概要

農場	エコフィードの種類	混合割合 (%)	飼料成分 (%)	
			水分	TDN
A	トウフ粕	50.0	42.4	83.9
B	トウフ粕、ビール粕、破碎米、酒粕	54.6	46.2	84.8
C	トウフ粕、パン、ビール粕、酒粕、オリーブ粕、くず米	68.0	45.9	90.8
D	トウフ粕	41.2	43.9	84.1
E	トウフ粕、ビール粕、パスタ	45.2	37.2	57.2
市販配合飼料			12.6	84.3

エコフィードの混合割合及び水分は原物当たり、TDNは乾物当たりの値

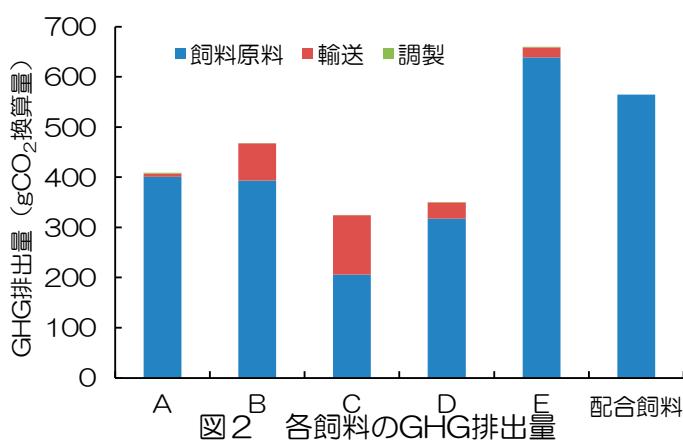


図2 各飼料のGHG排出量

混合飼料のGHG排出量の大部分は、「飼料原料の生産」に由来し、「混合飼料の調製」に由来するものは、ほとんどありませんでした（図2）。

混合飼料のTDN1kg当たりのGHG排出量は、351～660gであり、配合飼料の564gと比較してA～D農場では17～42%削減されましたが、E農場では17%増加しました（図2）。E農場でGHG排出量が増加した要因は、市販配合飼料と比較してTDN含量が低かったことが挙げられます。

エコフィードを活用した混合飼料は、多くの場合GHG排出量を削減することがわかりました。今回は、飼料のGHG排出量を紹介しましたが、現在、肉用牛生産に関わる全ての行程のGHG排出量削減効果について調査しています。（畜産技術センター 担当：企画研究課 湯本森矢）

自ら生産した堆肥を他者に渡す場合は、無償でも生産業者としての届出が必要です。

堆肥を有償で他者に渡す場合は、販売業者としての届出も必要です。



### 「肥料の品質の確保等に関する法律」

に基づく届出

必要な届出	届出書類
他者に渡す場合 <u>特殊肥料生産業者届</u>	<input type="checkbox"/> 特殊肥料生産業者届出書 2部 <input type="checkbox"/> 申請者確認書類…★ ↗<法人>登記事項証明書（枚数が多い場合は、現在事項証明書で可） ↗<個人>住民票の写し ↗<任意団体の場合>代表者住民票の写し、組合の構成員名簿、組合規約 <input type="checkbox"/> 生産工程の概要（フローチャート等） ・原料や副資材の種類と混合割合、切り返し回数や堆積期間など <input type="checkbox"/> 生産する事業場の案内図（地図） ・必要に応じて行う立入検査時に、生産事業場の場所がわかる案内図 <input type="checkbox"/> 表示票※ <sup>1</sup> の見本 ・表示項目(8項目)：肥料の名称、肥料の種類、届出をした都道府県、表示者の氏名又は名称及び住所、正味重量、生産した年月、原料、主成分の含有量※ <sup>2</sup> <input type="checkbox"/> 分析証明書（FAMICの指定する分析方法によるものに限る） <注意>分析機関に依頼する時に、FAMICの指定する分析方法か聞いて下さい。 <input type="checkbox"/> 肥料見本200g程度
販売する場合 <u>肥料販売業務開始届</u>	<input type="checkbox"/> 肥料販売業務開始届出書 2部 <input type="checkbox"/> 申請者確認書類 …★と同じ

#### 【※<sup>1</sup>表示票を作成するときの注意点】

- 「肥料の名称」は、届出書に書いた肥料の名称。
- 「表示者の氏名又は名称及び住所」は、届出書に記入した届出人の氏名（名称）と住所。
- 「正味重量」は、キログラム（kg）表示。容積量リットル（L）を併記することはできる。
- 「生産した年月」は、次のいずれか例により記載する。（例：令和7年7月、7.7、2025.7）
- 「原料」は「牛ふん」、「豚ふん」、「鶏ふん」、「牛のふん尿」「もみがら」等一般的な名称で表示。表示の順序は混合した重量が大きい順に記入し、備考で重量の大きい順であることを記載する。（原料が1種類の場合は、備考に記載する必要はない。）
- 「主成分の含有量等」は、次の表に従って記入する。  
乾物当たりで表示する時は、「（乾物当たり）」と記入。数値は幅をもたせず、一つの値で表示。
- 表示票の枠内には、指定された項目以外の内容は表示しない。  
(欄外には、肥料の品質について誤解を与えない範囲で、自由に表示することができる。)
- バラ積みやトランスバッグなど、一括して多量に出荷する場合は、表示票の印刷物を渡すなどで、必ず表示票が利用者まで届くようにしてください。

【※<sup>2</sup>主成分の含有量等の表示の要領】

項目	表示の要否	表示単位	誤差の許容範囲	表示桁数
窒素全量 りん酸全量 加里全量	含有量の多少にかかわらず必ず表示	パーセント (%)	表示値が1.5%未満の場合は、±0.3% 表示値が1.5%以上5%未満の場合は、表示値の±20% 表示値が5%以上10%未満の場合は±1% 表示値が10%以上の場合は、表示値の±10%	小数点以下 1桁まで
銅全量	原料に豚ぶんを使用したもので、現物当たりの含有量が300mg/kg以上ある場合は必要	1キログラム 当たりミリ グラム (mg/kg)	表示値の±30%	整数
亜鉛全量	原料に豚ぶん又は鶏ぶんを使用したもので、現物当たりの含有量が900mg/kg以上ある場合は必要	1キログラム 当たりミリ グラム (mg/kg)	表示値の±30%	整数
石灰全量	石灰を使用し、(飼料に添加される場合を含む)、現物当たりの含有量が15%以上ある場合は必要	パーセント (%)	表示値の±20%	小数点以下 1桁まで
炭素窒素比	数値の多少にかかわらず必ず表示	単位なし	表示値の±30%	整数
水分含有量	乾物当たりの数値で表示する場合は必要	パーセント (%)	表示値の±20%	小数点以下 1桁まで

## ※表示例

## 肥料の品質の確保等に関する法律に基づく表示

肥料の名称	神奈川たい肥1号
肥料の種類	堆肥
届出をした都道府県	神奈川県
表示者の氏名又は名称及び住所	かながわ株式会社 神奈川県横浜市中区日本大通り1
正味重量	20キログラム
生産した年月	令和元年12月
原料	豚ぶん、鶏ぶん、牛ふん、おがくず
備考	生産に当たって使用された重量の大きい順である。
主成分の含有量等(乾物当たり)	
窒素全量	4.4%
りん酸全量	4.1%
加里全量	0.8%
銅全量	315 mg/kg
亜鉛全量	937 mg/kg
石灰全量	15.2%
炭素窒素比	1.4
水分含有量	28.9%

「乾物当たり」で表示する場合に記載します。



※太字の文字は表示項目なので、語句を変えずに記載します。

## 問合せ先

神奈川県農業技術センター 病害虫防除部

〒259-1204 平塚市上吉沢1617

電話 0463-58-0333(代表) FAX 0463-59-7411

## 県外視察研修会を実施しました。

(一社) 神奈川県畜産振興会は、7月2日～3日、役員・会員12名で県外視察研修会を実施しました。

今回の研修では、神奈川県に経営の軸足を置き、千葉県で農場を展開し、生産規模拡大をしている(有)横山養豚(繁殖農場)、(有)ブライトイピック(銚子農場・GP農場、溝原液状飼料工場、鎧木飼料米倉庫)を視察し、他県において経営を始めたための工夫や苦労などを実感してもらい、それを今後の経営に活かしてもらうことを目的としました。

また、いすみ市で6次産業化や畜連携など多角的な経営を行ってい(有)高秀牧場を視察させていただきましたので、その概要について報告します。

### 【(有) 横山養豚 繁殖農場】

(有) 横山養豚は、皆さんもご存じのとおり、神奈川県内に肥育農場、千葉県成田市に繁殖農場を有し、2サイトで一貫生産体制を展開しています。今回は、その成田市の繁殖農場を視察させていただきました。

**【概要報告】** 横浜の農場周囲に住宅が増えたこと、敷地が道路にかかる

たこと、志澤会長から、「よそに出ないとだめだ。」と言わっていたことなどが県外に農場をもつきっかけとなつた。そして、周囲に養豚場が少ない、農場の立地、志澤会長のアドバイスもあり、平成21年にこの農場(母豚500頭規模)を購入し、利用を開始した。新たに農場経営をするにあたつては、地域の要となる人と良く話をし、理解をいただいた。その結果、共同浄化槽の使用や堆肥の販売先の確保など色々と協力いただき、スマーズに経営を開始することができた。浄化槽の新設に要する費用や許可等を考えると、共同浄化槽を活用させてもらえたのは非常に有難かった。成田繁殖農場は、次男(拓生さん)に管理を任せているが、当時から地元消防団にも参加するなど、地元とも積極的に関わっている。畜舎は食品工場と同じであり、ここで作つたものを食べたいと思つてくれるような施設で豚を育てたいと考えており、畜舎内の清掃・消毒を徹底している。1年ほど経つた時に、周囲の人から、「以前よりもハエや臭気がなくなり、横山さんに来てもらつてよかったです。」と言われ、受け入れられたのだと感謝した。令和4年

年に新豚舎(写真参照・繁殖豚舎1棟・分娩舎1棟・離乳舎2棟・肥育

豚舎1棟・建設費130万円／1母豚機械等の設置にクラスター事業を活用)を建設したが、地元からの反対は全くなく、資材等の搬入に対する協力もいただき、この土地に来てよかつたと本当に思つた。肥育豚舎を新築したことにより、繁殖候補豚を千葉で育成管理することが可能となり、衛生レベルも向上した。経営成績、労働環境、衛生レベルを良くするには、施設改善が必要であり、全てにおいて、新しい施設を造つて良かつた。また、周囲の土地を購入する際にも理解を示してもらい譲つてもらつた。いずれは、その土地を活用し規模拡大したいと考えている。

そこで何十年とやらせていただくのでも、周囲の人にも還元しないといけないと思っていて。

### 【所感】

話を聞いて、様々な努力、気遣いをしながら、地域と良い関係性を築き経営を行つていることがよくわかりました。地域の主要な人に協力を仰ぐこと、地域と積極的に交わること、地域のことを考えて経営することの重要性・必要性を改めて感じました。

### 【(有) ブライトイピック千葉】

(有) ブライトイピックは、神奈川

豚舎1棟・建設費130万円／1母豚機械等の設置にクラスター事業を活用)を建設したが、地元からの反対は全くなく、資材等の搬入に対する協力もいただき、この土地に来てよかつたと本当に思つた。肥育豚舎を新築したことにより、繁殖候補豚を千葉で育成管理すること可能となり、衛生レベルも向上した。経営成績、労働環境、衛生レベルを良くするには、施設改善が必要であり、全てにおいて、新しい施設を造つて良かつた。また、周囲の土地を購入する際にも理解を示してもらい譲つてもらつた。いずれは、その土地を活用し規模拡大したいと考えている。

そこで何十年とやらせていただくのも、周囲の人にも還元しないといけないと思っていて。

### 【概要報告】

銚子農場は、肥育農場として最大で、約25,000頭を飼養しており、これはブライトイピック総肥育豚の約40%を占めている。

隣接しているGP農場(繁殖農場)は2010年に開設され、母豚舎2,500頭を飼養している。繁殖農場と肥育農場が隣接しているが、事務所、管理者、進入口、動線など、全て別農場として管理している。

写真の浄化槽は6000t規模、それが施設内に3基あり、他農場分も含め、約50,000頭分の尿を処理している。処理水は河川放流しているが、排水にはとても気を使い、月に1度は外部機関で検査を実施し、排水のBOD濃度は常に一桁台を維持している。浄化槽は、農場の心臓部であり、ここに不具合が起きると経

県に1農場、千葉県に8農場を展開しています。千葉県での養豚経営は、昭和58年の第1農場開設が始まりで、すでに40年以上、千葉県で経営を継続しております。志澤会長は、「自分のアッピに尽力し、信頼を得たこと。持つてある情報を全てオープンにして、学校給食や福祉施設への支援地元の養豚農家と共に地域のレベルを上げ、地域に受け入れられたことをアップに尽力し、信頼を得たこと。

また、学校給食や福祉施設への支援を続け、地域に受け入れられたことをアップに尽力し、信頼を得たこと。

また、学校給食や福祉施設への支援を続け、地域に受け入れられたことをアップに尽力し、信頼を得たこと。

営が立ち行かなくなるため、浄化槽の維持管理には特に力を入れている。

糞の処理は 90m×5基  
6基、35m<sup>3</sup>×2基のコンポストで堆肥化している。90m<sup>3</sup>の大型コンポストを利用する銚子農場だけ  
で、全国的にも養豚場での規模の  
コンポストを利用しているのは珍し  
い。粉状の堆肥は、近くの耕種農家

割から9割は、北海道帯広市の農家に販売している。その際には、保存性を良くするために、水分含量を18%まで落としている。一部は地元の耕種(水稻)農家にも提供している。耕種農家には、ブロードキャスターで散布でできるため作業性が良く、臭気の少ないペレット堆肥は非常に好評である。

肥育豚には、溝原工場で作られたリキッド飼料に飼料米、サプリメントを調合して給与している。DMなど飼料成分の設定、給与量、飼料摂取量等は全てコンピューター管理（A-itech社）している。出荷後、枝肉から脂肪をサンプリングし、公社で分析、配合設計による肉質の状態を常に確認している。

敷地内は整理整頓されており、臭気もあまり感じられませんでした。【朝の10分間全員清掃】という試みを実施しているとのことで、職員の清掃に対する意識が高いこと、排水管理も含めて環境に気を付けて経営していることが伝わってきました。職員の方から「地元の夏祭り、水路清掃に参加をし、時には、重機が必要な

け入れている。乾物、包装形状があるもの、加熱が必要なものなどライセンが分かれており、液状原料を入れたミキシングタンクで、粉碎した原料と攪拌・混合する。作業は、パート・アルバイトのほか地元のシルバー、障がいのある方を雇用し、仕分け・開袋作業を行つてもらうなど、地域の雇用にも貢献している。

(有)高秀牧場

代表取締役  
高橋憲一氏

多種多様な原料の各々の栄養成分を計算し、各ステージにあつた栄養設計を行う。製造した飼料はロットごとにPh、塩分、味、比重などをチェックしている。

出来上かつた製品は千葉県内の自  
社5農場に搬送。総給与頭数は  
63、りり頭(難九二家)  
四百五

63000頭（離乳子豚・肥育豚）にも及ぶ。

## 〔概要報告〕 〈農場の概要

この場所（須賀谷畜産団地）には

**【鎌木倉庫の概要報告】** 平成19年、  
飼料米の取組を展開するにあたり、  
稻作農家60戸、畜産農家9戸と共に、  
飼料米を提供しても良いと手を挙げ  
てくれた全量を受け取るための体制  
を構築し、鎌木倉庫を購入。徐々に  
規模を拡大し、現在は、飼料用米倉  
庫4棟、飼料用米収容能力3,400t。  
分搾設備は1号倉庫こあり。

## 溝原液状飼料工場・鎧木倉庫

こだわり、飼料自給率の問題と向き合い、取組を続け、2007年に溝原飼料工場を開設。飼料化施設内は、加熱エリアと非加熱エリアに明確に区分され、コンビニエンスストアからの原料は加熱エリアで処理をしている。パン、チヨコ、インスタント麺、菓子、野菜など種類や形状が異なる様々な食品製造副産物を受

け入れている。乾物、包装形状があるもの、加熱が必要なものなどラインが分かれており、液状原料を入れたミキシングタンクで、粉碎した原料と攪拌・混合する。作業は、パート・アルバイトのほか地元のシルバー、障がいのある方を雇用し、仕分け・開袋作業を行つてもらうなど、地域の雇用にも貢献している。

多種多様な原料の各々の栄養成分を計算し、各ステージにあつた栄養設計を行う。製造した飼料はロットごとにPh、塩分、味、比重などをチェックしている。

原料は月に大型トラック・4t車など約75台分搬入される。令和5年度受入実績は、5,754t／月、飼料製造量は8,803t／月である。

出来上がった製品は千葉県内の自社5農場に搬送。総給与頭数は63,000頭（離乳仔豚・肥育豚）にも及ぶ。

### 【鎌木倉庫の概要報告】

平成19年、飼料米の取組を展開するにあたり、稲作農家60戸、畜産農家9戸と共に、飼料米を提供しても良いと手を挙げてくれた全量を受け取るための体制を構築し、鎌木倉庫を購入。徐々に規模を拡大し、現在は、飼料用米倉庫4棟、飼料用米収容能力3,400t。粉砕設備は1号倉庫こあり、日量30t粉砕できる能力を持つ令和5年度の受入実績は6,747t、6年度は4,200t程度となつてある。耕種農家が飼料半度を生産しやすいように農産物検査注に基づく検査機関の登録を取り、料金で受入検査を実施している。

### （有）高秀牧場

#### 代表取締役 高橋憲一氏

千葉県の房総半島南東部に位置する「いすみ市」で耕畜連携による經營、WCS、飼料用米など水田飼料作物の利用を通じた循環型酪農を取り組み、自家製の生乳を使つたチーズやジエラートなどの製造販売を行つている（有）高秀牧場（代表取締役高橋憲一氏）にお邪魔しました。

### 【概要報告】

### 【農場の概要】

この場所（須賀谷畜産団地）には昭和58年に入植。八千代市にあそ50aの土地を売却し、子供の頃から酪農を志していた憲一氏のために補助事業等を活用し、23haの土地牛、機械、自宅等を購入し経営を開始した。実兄が4年間経営し、昭和63年、結婚と同時に就農した。八千代市にある実家では兄が酪農を経営してはいる。

現在、乳用牛飼養頭数は200頭、うち搾乳牛は85頭。息子さん(30)が新しい牛舎を建てたいと言つており、計画を練っている状況である。60歳を過ぎ、近々、経営を譲ろうと思つてはいる。

### 〈自給飼料生産について〉

平成20年に原油価格の高騰等により飼料価格が高騰した際、アメリカ、カナダの飼料作物生産現場を視察に行つた。農家の人は作った飼料を貯蔵できる施設を作り、自分で保管し、値段が上がつたら出荷するという形に変わつてはいる。今後、中国が穀物も大量に輸入するようになつてきたら、エサを確保できなくなると危機感を覚え、地域の酪農家仲間に、自分たちでエサを作ることを提案した。仲間からは大反対されたが、時間が無い、お金がないと言つている場合ではなく、これをやらないと生きていけないと説得し、できるだけ設備投資をしない形で稻のホールクロップサイレージを始めた。最初は2haから始め、翌年には18ha、32haと倍々に増やし、昨年は飼料用稻100ha、飼料用米60haを収穫した。当初、収穫は畜産農家側がおこなつていたが、現在は、稻作農家に有料で請け負つてもらつてはいる。今年は、食料米の高騰により、飼料用稻が

20haまで減少した。飼料用米は減るのが分かっていたので、新しく3名の方と契約を結び、200t確保できるようにしている。現在、40名の稻作農家の方と連携をとつてやつてはいるが、高齢人が多いので、稻作農家の事業を継承しないといけないと想い、M&Aによる事業譲渡契約に向けての取組みを進めている。

高秀牧場の粗飼料の自給率は、ほぼ100%。配合飼料の自給率が7割程度で配合飼料をどれだけ輸入に頼らなくて行けるかだと思う。自給率は高いが、資材費等の高騰により、経営は厳しい状況にある。自給飼料や食品製造副産物(ビール粕、トウフ粕、酒粕など)を使い、餅のコストを下げながら、生産量をできるだけ上げることを経営方針としている。出来れば、国産飼料100%で搾つた牛乳でブランド化したいが、100%は難しいので、50%でブランド化できないかと思つてはいる。

### 〈ふん尿処理について〉

自農場で生産される堆肥は、全て自分の畑で利用している。畑をやつていない仲間は、処理に困つてはいたので、共同施設を作り、堆肥を袋詰めして販売していた。そうなると、1年中、袋詰めしているようになつてしまつたので、現在は、稻作農家

と連携し、田んぼに散布している。食料米を作つてはいる稻作農家からは、「収穫量が増える」「食味も良くなる」ので、堆肥を入れて欲しいとの要望があり、堆肥は足りないぐらいである。牽引式のマニアスプレッダーで堆肥散布するので、散布するのは基盤整備をしている田んぼに限定している。

尿はラグーンで液肥にし、地域の田んぼに入れている。この液肥を使うと土が活性化して、根の張りが良くなり、食味がとても良くなると評判で、この液肥を使い、生産されたお米は、ブランド米として販売されている。

### 〈6次産業化について〉

平成23年にチーズ工房をオープンした。チーズの製造は職人に任せ、販売を夫婦でやつてはいた。牛の管理に手を抜いたわけではなかつたが、生産量が落ち始め、このままでは牧場をつぶしてしまうことにもなりかねないと思い、カナダで就職していき娘にチーズ工房を任せることにした。また、ミルク工房(ジエラート)もやりたいとのことで、金融機関からお金を借りてすぐに実行に移した。チーズ工房やミルク工房の建築費用はもうすぐ支払いを終わるが、人件費もかかるので儲かりはしない。

しかし、6次化の取り組みを始めてから、畜産を専門的に勉強している考え方、地域の農業全体の事を考えた行動など非常に参考になる話を秀な人材を確保するために6次化を始めたという意味では目標は達成したと感じている。

**【所感】**本県とは、経営環境が異なるものの、地域酪農家との仲間づくり、耕種農家と連携、経営に対する考え方、地域の農業全体の事を考えた行動など非常に参考になる話を聞くことが出来ました。

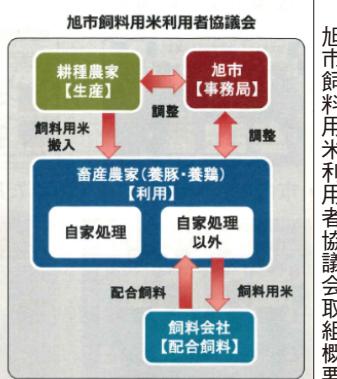
(一般社団法人

神奈川県畜産振興会 小嶋)

## 旭市飼料用米利用者協議会の取組

### 協議会の概要

- 【設立】平成20年2月
- 【構成】畜産農家、昭和産業㈱、旭市会員数:9(養豚4、養鶏5)
- 【事務局】旭市(農水産課)
- 【業務】・飼料用米の流通調整  
・価格の決定  
・契約書等の作成  
・販売代金の管理  
・飼料用米のPR活動 など
- 【R6年受入面積】628.3ha  
(※作付面積全体の88.0%)





(有) ブライトピック千葉  
銚子農場 汚水浄化施設



(視察写真)  
(有) 横山養豚  
繁殖農場



(有) ブライトピック千葉  
溝原液状飼料工場



(有) ブライトピック千葉  
鎌木飼料米倉庫



(有) 高秀牧場

**高病原性鳥インフルエンザに  
最大限の警戒を!!**

令和六年シーズンは北海道において、家きんで最も早い十月十七日に初発事例が確認され、一時は本病発生件数が過去最多となつた令和四年シーズンを上回る勢いでしたが、令和七年二月一日の発生を最後に、発生各道県の尽力により令和七年二月二十一日までにすべての防疫措置が完了しました。最終的には14道県51事例が確認され、約932万羽が殺処分の対象になりました。

令和六年シーズンの発生から得た教訓を共有するため、今年の七月に農水省で疫学調査報告書に係る情報交換会が開催されましたので、今回その概要について紹介させていただきます。

まず、全51事例のうち、9事例が過去に発生を経験した農場であり、そのうち1事例は3度目の発生でした。これらの農場がある地域は、その他の地域と比較し、環境要因等により本病の発生リスクが高いと考えられます。地域として日頃から発生に備え迅速に対応できるよ

## 家保だより

う準備をすることが求められています。また、17事例が20万羽以上を飼育する採卵養鶏場での発生です。飼養規模が大きいことがリスク要因の一つであることは以前の発生事例でも言われており、万が一の発生時に備え殺処分対象となる家きんの数を削減するため、農場の分割管理に取り組むことも重要です。

また、家きん農場集中地域での発生については、羽毛や糞便に由来する塵埃を介して農場内に侵入したことでも疑われています。これらは

感染拡大の要因になる可能性があるとも

述べられており、発生時の防疫作業では、

畜舎の排気口へのフィルター設置や、液状消毒薬を用いた排気口の継続的な消毒などの対策を取ることが必要とされていました。

鶏飼養者の皆様におかれましては、これから気を抜けない時期が訪れますが、家畜保健衛生所においても、適宜情報を伝えし、発生予防対策に努めています。引き続き、飼養衛生管理基準の遵守と異常時の早期通報にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

（湘南家畜保健衛生所・山本）

**蜜蜂は家畜 養蜂は畜産  
ウクライナは養蜂大国**

人も無いのに、プーチン大統領はそんなんにしてまで戦争をしたいのか。

米国のトランプ大統領は就任前に

「オレが大統領になつたらロシアと奪い合いが続き、食べ物が無く瘦せ細つた子供たちの姿は八〇年前の日本姿かとも。八〇年前の八月十五日、日本は米国を主とする連合軍に無条件降伏をして戦争が終わったと思ったが、ソ連は日ソ不可侵条約を一方的に破棄して日本の北方領土に攻め込みました。

広大な国土を持つて

## 新むらすずめ

備隊は九月四日まで戦闘を続けました。北方四島や北海道まで奪おうとした火事場泥棒のようなソ連。ソ連崩壊後のロシアは豊かな国土のウクライナを欲しいと。戦場に駆り立てられたのはシベリヤ地方の兵や

恩赦を与えると集めた囚人兵、国民党に勤めていた。ロシアの軍事侵攻で暮らしている。ロシアの軍事侵攻で三〇%の養蜂場が失われた。それは、日本は養蜂関係資材を提供し、地雷除去等の圃場整備でウクライナを支援できないか。武器ではなく、甘

い蜜で。

ヒマワリの蜜の味は？（忠九郎）